

チャレンジ！！オープンガバナンス 2023 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名 （注1）	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
	-（事務局用）	少子高齢社会の地域活動について～住民の安全安心をどう守る？～	大阪市東淀川区
チームがつけたアイデア名（公開） （注2）	演劇で特殊詐欺被害を減らそう		

（注1）地域課題名は、COG2023 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち赤字部分は削除して該当する番号を記入のこと

チーム名（公開）	大阪成蹊大学 公共女子		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数（公開）	6名		
代表者（公開）	植田わかな		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募内容の公開＞

1. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
2. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示—非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
（具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>）
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
4. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アトバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

5. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
6. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認 **確認後 OK なら右に○印を記入⇒○**

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて説明の途中に図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたい、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。**2ページ以内**でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題のポイントはこれです！をごく短く以下に書いてください>

<解決したい課題のポイント>

特殊詐欺防止

<以上の課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いてください> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が原点です>

<提案するアイデアの内容>

・理由

チームの各メンバーの祖父母が特殊詐欺の被害にあいかけていたことを知ったから。

・何を

演劇

・いつ

毎年 11 月

・どこで

大阪成蹊大学のホール・体育館

・どのように

大阪成蹊女子高校の演劇部産に特殊詐欺を題材とした演劇をおこなってもらう。

動画撮影を行い、年間を通して東淀川区の警察・区役所・病院などで動画を流してもらう。

東淀川区内の高校、大学でも映像を流す。

被害者にも加害者にもならない取り組みを!

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

大阪成蹊女子高校演劇部と東淀川区の協力で実現させる。

演劇部さんに高齢者に向けた演劇を年に1度の定期付けしてもらおう。1度きりの公演にならないように、動画を残し市役所や警察署などで流してもらおう。また、高校でも演劇を鑑賞する時間を作り高校生が被害者にも加害者にもならないよう呼びかける。演劇、映像を見た方に相談窓口の連絡先が記載されているパンフレットなどを作成し、配布する。年に1度全国的に特殊詐欺の多い12月にむけ10・11月頃に開催する。動画を年間かけて放映してもらい特に12月に頻繁に流してもらおうようにする。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかの理由を上記のデータを示しつつわかりやすく書いていきます>

実際に今年の10月16日に大阪市東淀川区で、高齢者を特殊詐欺の被害から守ろうと、地元の高校生が演劇で注意喚起していたから。

大阪成蹊女子高校の演劇部14人が地元の高齢者などに対し、特殊詐欺の被害の防止を呼びかける演劇を披露した為、演劇での呼びかけを毎年行って定期付することで若者も高齢者も特殊詐欺被害についての理解が深まるため。

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず>

<以下のように分けて書いていきます>

1. 実現する主体
2. 実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

- ・演劇部に依頼する。
- ・成蹊大学のホールを借りる。
- ・チラシを作る、くばる（町内会、回覧板）。
- ・動画を流してもらえる場所をさがす（市役所、病院、警察、銀行、郵便局など）。
- ・高校、大学の授業で使えるか
- ・カメラを借りる。